

自由民主党 京都市会 議員団ニュース



平成20年(2008)11月25日発行

■発行人/井上与一郎 ■編集長/寺田かずひろ
〒604-8571 京都市中京区河原町御池
TEL.075(222)3718~23 FAX.075(257)3091
http://jimin-kyoto.jp/

No.24

自由民主党京都市会議員団は、11月18日、「平成21年度京都市予算及び今後の市政方針に対する要望」をまとめ、門川京都市長に提出しました。門川市長を支える最大与党会派としての責任を果たすべき立場から、厳しい視線で市政を監視するという認識の下、危機的状況にある財政を再生するべく、ムダを省く待たなしの行財政改革の具体的な道筋を示すことを求めるとともに、「京都創生」「環境問題」など、力強く取り組むべき施策について、重点的に要望しております。

平成21年度予算及び市政方針に対する要望 待ったなし行革 具体的な道筋を

地域主権のモデル実現

要望は「議会と行政が良
い緊張感を保ち、地域主権
のモデルとなる行動を取る
ことが求められている」と
指摘する前文と各分野及び
各行政区における要望項目
からなっており、総括的な
概要は次の通りです。

1. 国家戦略としての京 都創生 京都の持つ歴史 的、文化的な価値を守り活 かすための京都創生の積極 的な推進。新景観政策にお ける市民や事業者への柔軟 かつきめ細かい指導、違反 広告物の公平かつ厳格な体 制での取締り。京町家の保 存・再生や電線類の地中化。

2. 市政改革 外郭団体
等の統廃合、職員厚生会へ
の全廃も視野に入れた補助
金削減。不祥事の「信頼回

行政区別の 要望58項目

【北区】国道162号の
川東拡幅工事の推進など9
項目。

【上京区】総合庁舎基本
計画の二十一年度中の策定
など5項目。

【左京区】総合庁舎整備
計画の進捗と出張所の適正
配置等の10項目。

【中京区】JR嵯峨野線千



予算及び市政に対する要望をまとめる自民党議員団

生駅(仮称)に向けた取り
組みなど2項目。

【東山区】東大路通の抜
本的な道路環境の整備に向
けた社会実験を行うため財
源確保など3項目。

【山科区】「おこしやす」や
ましな「協議会」への一層
の協力体制の充実など6項
目。

【下京区】梅小路公園に
水族館開設の検討など3項
目。

【南区】国道24号と西小
路間のJRガード下道路の
拡張整備など4項目。

【右京区】古都保存地区
をはじめ嵯峨野地域の無電
柱化の推進など6項目。

【西京区】桂川街道の北
伸など9項目。

【伏見区】久我・羽束師
地域のまちづくり推進のた
めマスタープランに基づく
都市整備の推進の1項目。

環境共生・京都創生二層の推進

復と再生のための抜本改革
大綱」のもとでの厳格な対
処。職員削減の着実な推進。
ごみ収集業務の完全民営
化、PFI、指定管理者制
度の導入など。

3. 環境問題 「産・官・
学」連携した「地球温暖化
防止プログラム」の作成、
推進。ゴミ減量への継続的
な取り組み、有料指定袋導
入の効果を最大限に発揮し
た温室効果ガスの目に見え
る削減、バイオマスの利用

など再生可能燃料の普及拡
大。
4. 福祉 特養等の介護
施設の増設、サービスの充
実。高齢者と子育て支援に
関する施策を後退させない
よう徹底した無駄を省く努
力。障害者自立支援法の円

7. 交通政策 「歩いて
楽しいまちづくり」のため
の、地元住民や関係団体と
の十分な連携、放置自転車
対策の積極的が対策。LR
Tについては、具体的な計
画の検討など一層の進捗。
8. 都市基盤の整備 高
度集積地区への企業立地促
進、南部地域の魅力あるま
ちづくりの推進。京都高速
道路の建設、第二外環状道
路の整備促進、実行不可能
と予見される都市計画道路
の見直しの検討、周辺部の
下水道整備の早期事業化、
山間へき地の携帯電話通話
の早期実現。

滑な実施、超高齢社会の到
来を踏まえた施設整備、介
護サービスの十分な確保と
地域ケア体制の充実。市立
病院・京北病院の医師・看
護師の確保、処遇改善等。

9. 安心・安全なまちづ
くり 警察行政についての
府市協力の推進、警察署・
派出所の新築・移転などの
早期実現、緊急通報システ
ムを住宅用火災警報器に連
動させるシステムの導入の
検討。

5. 子育て・教育 妊婦
健診の全額公費負担、里親
制度の普及啓発、三人目以
降の子育て支援制度の拡
大。待機児童対策、延長保
育・一時保育の充実。長期
宿泊自然体験事業の体制充
実。科学センターのリニュー
アルによる人材育成拠点の
整備。

10. 上下水道事業 度重
なる事故に対し、防止に努
め、宅地内の鉛管取替工事
に補助制度に対する周知徹
底とその促進。

6. 産業と観光振興 伝
統産業の活性化と後継者の
育成の取り組みの推進。「観
光客五千万人構想」の実現
に向けた施策の充実、「パー
ク&ライド」等の交通政策
の充実。自然保護と鳥獣保
護の視点を考慮した農林行
政改革。

11. その他 老朽化著し
い市役所庁舎について、早
期建替等の実現に向けた取
り組み。4月未満の道路の
セッパックについて、将
来の拡幅に向けた条例化の
検討。

京都を「第二の首都」に

特別市に位置づけ

個性と魅力 発揮できるように

内海貴夫議員 (東山区)

上させ、「世界の文化首都」たる地位の確立を目指して参ります。

東大路の歩道拡幅 快適な歩行空間に

歩道から歩行者があふれている東大路通においては、歩行者の立場からの抜本的な道路環境の

改善が早急に求められています。快適な道路を提案・整備することが、京都市が目指す「歩いて楽しいまち」の実現にも寄与し、市民更には、市に訪れる観光客が望む魅力的な街につながるかと確信します。

内海貴夫議員(質問) 私は京都という街は、道州制にはそぐわない街かもしれないと考えており、むしろ「日本に京都があつてよかった」と言い続けて来たように、世界の京都、日本の京都として「特別市」のような位置づけをさぐるべきではないかと思つています。先人の偉業と誇りを守りつつ、京都を「第二の首都」として要請していくべきではないかと思つています。いかがですか。

門川大作市長(答弁) 真の地方分権、地域主権を推進していくためには、京都の個性と魅力が発揮できる仕組みとなるような道州制と併せて、特別市としての京都を目指すべきと考えております。今後の道州制にふさわしい新たな大都市制度の創設を他の指定都市と連携して国に働きかけていくと同時に、京都のブランド力、都市格を一層向



狭い歩道には歩行者があふれている(清水道付近)

いいて楽しいまち」の実現にも寄与し、市民更には、市に訪れる観光客が望む魅力的な街につながるかと確信します。今後の交通対策を進めていく上で、東大路通の歩道の拡幅について社会実験を行うことが必要ではないかと考えますが、いかがでしょうか。

代表質問

9月 定例会

9月定例会代表質問は9月8日、自民党市議員団から内海貴夫議員(東山区)、繁隆夫議員(伏見区)、田中明秀議員(西山区)の3氏が質問に立ちました。

内海貴夫議員の質問項目

- ・市長就任後の所感と京都力
- ・二元代表制における政策形成過程での議会意見の反映
- ・関西広域連合に対する考え
- ・第二の首都としての京都
- ・各区基本構想と新京都市基本計画
- ・環境モデル都市昇格に向けた取り組み
- ・環境にやさしいライフスタイルを考える市民会議の設立
- ・自転車の走行環境の改善
- ・駐輪場の整備 ・東大路通の歩道拡幅

か。

水田雅博交通政策監(答弁)

東大路通が快適な歩行空間として、観光客や市民の皆様にも、その魅力を楽しんでいただけるものにするためには、区民の皆様のご理解、京都府警等関係機関のご協力のもとより、大きな世論の盛り上がりが必要であります。こうした点に留意しながら、「歩くまち・京都」総合交通戦略策定審議会での検討を踏まえ、前向きに検討をして参ります。

新たな駐輪場整備 一層の推進を図れ

内海貴夫議員(質問) 都心部

はもとより、都心部以外でも、東山区の京阪沿線をはじめ、駅周辺などでは駐輪場の絶対数が不足している地域が数多くあります。今後は、非効率な利用実態となっている市営の無料駐輪場の再整備や、民有地を借りてでも新たな駐輪場を整備することについても、これまで以上に地域住民や鉄道事業者等と連携

新景観政策1年を経て

着実なる改善

デザイン基準周知 ガイドライン作成

政策は京都の歴史に残る画期的な政策であります。この一年間に屋外広告物が目覚しく改善され、新基準適合住宅が開発されるなど、政策が着実に浸透して参りました。一方、事業者の皆様から様々な御意見もお聞きしております。私は、政策の基本を堅持しながら運用面などで改善し、政策を進化させねばなら

繁隆夫議員(伏見区)

繁隆夫議員(質問) 新景観政策施行後一年を総括してどのように進化させるのか、各方面の意見を踏まえてどう改善されるのか、市長の考えをお示ください。

門川大作市長(答弁) 新景観

繁隆夫議員の質問項目

- ・本市が所管するスポーツ施設の現状
- ・スポーツ施設に関する将来展望
- ・自立促進援助金制度の見直し
- ・新景観政策施行後1年の総括と今後の方針等
- ・緊急通報システムと住宅用火災警報器との連動
- ・久我・羽束師のまちづくり

緊急通報システムと火災警報器



し、積極的に展開していくべきと思いますがいかがですか。

門川大作市長(答弁) 今後は、

公共空間を活用した新たな駐輪整備や、無料駐輪場の再整備をより一層推進するとともに、集客施設に対する駐輪場の付置義務の強化や民間駐輪場整備助成金制度の創設などに取り組み参ります。更に、道路上や民有地を活用した駐輪場の整備など、新たな手法についても具体化に向けて検討するよう指示を致しております。

緊急通報システム 火災警報器と連動

繁隆夫議員(質問) 一人ぐら

しの高齢者の方などを対象に、火災や急病などの突発事故が起きたとき、ボタン一つで一〇九番通報できる緊急通報システムは、救急車の要請には向いているが、火災時には五年間で十世帯で焼死されていることから、緊急通報システムに住宅用火災警報器を連動させ、自動的に通報できるようにすれば多くの人が助かり、ぜひとも実現すべきと考えておりますが、いかがですか。

門川大作市長(答弁) 火災時

には、高齢者がパニック状態となり、緊急通報システムを活用できない場合や、避難が遅れる場合があることから、住宅用火災警報器との連動は、焼死者防止対策の点で有効であり、経費面や他都市の状況を踏まえ、是非とも前向きに検討して参ります。

(繁隆夫議員の質問3面に続)

久我・羽束師まちづくり

繁隆夫議員（質問）マスタープランに基づいて久我・羽束師地域のまちづくりを進めるためには、背景となる都市計画道路羽束師墨染線等の整備、西羽束師川支川等の整備及び区画整理事業の都市計画決定等を促進していくことが重要です。当地区での整備の方針についてのお考

えをお聞かせ下さい。
星川茂一副市長（答弁）久我・羽束師地域では、府道水垂上桂線沿いの渋滞の慢性化や豪雨時の浸水被害の発生などに対応した道路や河川などの都市基盤整備を含む、計画的なまちづくりが必要と考えております。計画的なまちづくりの基盤と

なる土地区画整理事業は、地元による区画整理事業立ち上げの動きがあり、現在、関係者間で協議を進めております。今後は、「伏見区基本計画」等の上位計画を踏まえ、まちづくり協議会などの地元のご意見を聞いて、道路・河川事業及び区画整理事業の連携で、本地域の整備マスタープランの策定に向け取り組んで参ります。

生ゴミ分別収集めざせ

モデルを構築

エネルギーの創生 CO₂削減に繋げる

田中明秀議員（西京区）

田中明秀議員（質問）生ゴミの分別収集のモデル実験を控

え、全市拡大へと進めていく為に市長の強いリーダーシップが必要と考えます。又、コンポスト普及の取り組みとの整合性は取れているのでしょうか。

門川大作市長（答弁）家庭のゴミの四割を占める生ゴミ

は、水分が多くそのまま燃やすのではなく、これを分別してバイオガス化により水素等を取り出し、発電効率の高い新たなエネルギーとして活用していくことが、「焼却ゴミの減量」と「温室効果ガスの削減」に極めて有効であり、この先進的な取り組みを積極的に進めていく必要があります。生ゴミの分別収集はこうしたゴミの減量や堆肥化に加え、コンポスト容器等の設置できない家庭や地域をも対象として、生ゴミからの新たなエネルギー創出を可能とする資源循環の地域システムづくりを目指すものであり、両事業は相互に補完する有効なものであります。今後は一年にわたるモデル実験を検証し、その成果の上に立って、生ゴミ分別リサイクルの最適モデルとなる「京都モデル」を構築し、エネルギー創生やCO₂削減につながる大きな夢の

阪急松尾の駐輪場 早期に実現を望む

田中明秀議員（要望）阪急松



駐輪場がないので近くの路上に並ぶ自転車（阪急松尾駅近く）

ある「きょうかん」の取り組みとして、市民の皆様と共に進めて参ります。
尾駅の駐輪場については、本市会に平成六年十一月に請願書が提出され、平成六年十二月十四日に市議会で採択されたが今日においても駐輪場設置に至っていません。早期の実現を要望します。

建設局からの（説明） 駅西側の農業用水路が、産業観光局から上下水道局の排水路に所管換えされることとなったため、水路の暗渠化検討が可能となりました。そこで京都市自らが緊急の土地を一部借用し、水路上に駐輪場を整備する方向で、関係機関との調整を始めており、今後早期の整備に向けて必要な手続きを進めていきます。又、今後の予定として、具体的な駐輪場設計案を作

田中明秀議員の質問項目

- ・家庭の生ごみの分別収集
- ・コンポスト普及と生ごみ分別収集の整合性
- ・ペットボトル再使用の取り組み
- ・市バスにおける酸化触媒剤の利用
- ・「京都市民健康づくりプラン」における口腔保健の推進
- ・ダンスを取り入れた教育活動
- ・桂川街道の延伸
- ・阪急松尾駅の駐輪場設置

京都の教育活動に ダンスを取り入れ

田中明秀議員（質問）ダンスを取り入れた教育活動について

成し、阪急電鉄と借地等の協議を進め、水路の暗渠化に伴う、水路の管理者協議をしていきます。

京都ならではの取り組みを全国に発信してはどうかと考えますが、教育長のご所見をお伺いします。

されております。本年十一月には、NPO法人と連携しダンスのワークショップを取り入れた教育活動を小学校で実施するとともに、今後ダンスや演劇等に造詣の深い地域住民の方々や学生を招聘した活動を進めるなど、京都ならではの取り組みを展開して参ります。

山形・長井市と 仙台へ施策調査

自民党市会議員団は八月十一日、十二日の両日に他都市調査を行いました。

十一日は山形県の長井市で「レインボープラン」を調査しました。この施策は市民活動から生まれたもので、台所から出る生ごみの回収と有効活用により、市民と行政が一体となって取り組んでいるものです。京都市に



長井市を訪問した自民党議員団一行

おきまして、本年秋季より各行

政区にてモデル地区が選定され、生ごみの拠点回収が行われております。私たち自民党市会議員団も長井

積極的に政策提言

建物の安心安全 で市長に提言書

自民党市会議員団は十月三日に門川大作京都市長に対し「建



提言書を門川市長に渡す

物の安心安全に関する提言書」を手渡ししました。これは、このおいて最低価格を

十二日は宮城県の仙台市を訪問、今年三月に策定された「仙台市コミュニティプラン」を調査しました。京都市は大都市ながら、地域コミュニティが各地に根付く「旧きよき街」ですが、このよさを次世代にも伝えるためにも今こそしっかりと取り組まなければなりません。京都市では自治会の活性化に向けた条例の制定も検討されています。自民党市会議員団は地域の皆様

京都市では、平成十九年九月一日から、京都の優れた景観を守り育て五十年後、百年後の未来へ引き継いでいくため、建物の高さやデザイン及び屋外広告の規制等を全市民に見直した「新景観政策」を実施しました。実施後一年が経過し、「この政策が継続されるよう頑張らなければならない」という声がある一方、「ガレージを作ったら門を造らなければ…」等、市民の負担もお願いしているところでもあります。そこで、自民党議員団各氏の見解、今後の展望を一言、特集しました。今後さらに市民の皆様の声もお聞きしたいと思います。

小林正明 北区



京都百年の大計としてスタートした「新景観政策」。ダイベロップパーと中小業者の混在する中で、現実面では狭小住宅地に対する配慮が必要。

加地 浩 北区



日本の心のふるさと京都が進化する新景観政策により歴史都市としての価値、魅力が向上することを願っています。

山本恵一 北区



あの時新景観政策を策定して良かったと言える様、京の町づくり。高さは勿論の事、電線地中化等景観維持・保全実現に努力します。

中村三之助 上京区



古都京都が「日本人の心のふるさと」として街並の保存再生は涵養です。それには未来京都の都市像をはっきり示さなければ理解されません。

寺田一博 上京区



景観の大切さは市民共通の認識です。旧き良きものを残し、新しいものを創造する街へと「進化する景観政策」に向けて提言してまいります。

巻野 渡 左京区



新景観政策の施行から一年。その趣旨はわかるが出てきたリスクも考え、より政策を進化して欲しい。

大西 均 左京区



保存と発展という一見矛盾したテーマを調和させねばならない。視点場からの眺望という試みはいつか市民に愛されることになろう。

加藤盛司 中京区



既存不適格マンションに居住しておられる皆さんは、建て替え時の不安を持っておられます。それを解消するように検討も必要です。

津田大三 中京区



故きを温めて新しきを知る京都に暮らす我々がその良さを再認識し、その上で新しい活力を見出すことの出来る政策へと進めて参ります。

内海貴夫 東山区



このたび、基準の運用や手続きに必要な期間がわかるガイドラインを作成すべきとの声を実現。今後も「声」にこたえてまいります。

新景観政策 私はこう思う

条例実施後1年 自民党議員団

富 きくお 山科区



実施から一年。市内建築着工件数が全国平均より大きく減少。本市に与える影響が懸念される。一部見直し、検討が必要と考えます。

吉井あきら 山科区



見直さなければならぬ点は見直し、京都にふさわしい景観保全、創出に向けこの条例が進化するようつとめてまいります。

西脇尚一 下京区



政治の場に絶対と言うのはありません。全てが相対論です。即ち妥協です。皆さんの目線に立つての話し合いです。見誤る事なく頑張ります。

田中セツ子 南区



新景観政策は市民から「この政策はわかりにくい」と言われています。今後は市民に説明責任を果たし、わかってもらうことが大事です。

井上与一郎 右京区



未来の京都には重要な施策です。社会情勢に合わせ、市民のご理解を得て、世界の京都となるような施策に進化させるべきと考えます。

田中英之 右京区



現状を見聞きする中で、この一年を検証し、景観を守ることに、市民の住環境を守ることを共存させていくための議論が必要。

山元あき 右京区



未来の京都のために今私達ができる第一歩、それが新景観政策です。皆様とともに理解を深め、残る課題の解消に取り組んでいく所存です。

田中明秀 西京区



日本の伝統・文化発祥の地の京都の町並みを後世に伝えることは大事。又そのことによって死に地を作らないように配慮もすべき。

西村義直 西京区



京都の将来にふさわしい「まちづくり」子どもからお年寄りまで住み良いまちづくりの実現に向けて取り組みます。

高橋泰一朗 伏見区



世界に誇る古都に住み続けることに自信と喜びを覚え、未来永劫に悠久の歴史と文化と美しく豊かな自然を享受すべく、互譲の精神で頑張ります。

繁 隆夫 伏見区



京都の将来を考えれば、景観政策はなくてはならないものだと思えます。しかし、市民や事業者に分かりやすく説明し、理解いただく必要がある。

橋村芳和 伏見区



「京都」は未来の子ども達からの預り物です。政策を進化させ、もつとメリハリのあつた町づくりを。伏見区は新都創造の気概を持って！

自民党議員団ニュースは広く市政に関することのご意見をお待ちしています。

自民党京都市会議員団 〒604-8571 京都市中京区河原町御池 E-mail:jimin3@nifty.com FAX.257-3091



古紙配合100%の再生紙と環境にやさしい大豆油インキを使用しています。